

デュアルモードビークルもＪＲ北海道ですか、断念したというような情報も得てはおりますけども、それらも含める中、長期的に実用化等を見ながら、やはり調査研究はしていかなければならないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐議員。

○１７番（五十嵐健一郎君）

消防団員の女性団員を、ぜひ増加を図っていただきたい。

これ新聞にも載ったんですが、女性同士の誘い合いが大切で、入りたくなるようなメリットを示していただきたいと、こう思っておりますので、よろしくお願い申し上げまして、一般質問を終わらせていただきます。

○議長（倉又 稔君）

以上で、五十嵐議員の質問が終わりました。

次に、田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。〔１３番 田原 実君登壇〕

○１３番（田原 実君）

糸魚川２１クラブの田原 実です。

私は１３年前に糸魚川市議会に参加し、以来、毎回定例会にて欠かさず一般質問をさせていただき、今回で５０回目となります。

では、事前に提出しました発言通告書に基づき、以下、質問をいたします。

１、糸魚川東小学校区を中心とする地域の課題、糸魚川市の対応について。

(１) 学校、保育園周辺への防犯カメラの設置、子供の見守りについて伺います。

(２) 通学路の交通安全対策について伺います。

(３) 糸魚川東小学校内の遊具「ひすいブリッジ」の安全性確保について、また、市内公共施設内に設置された遊具の安全性確保について伺います。

(４) 市道蓮台寺線とえちごトキめき鉄道日本海ひすいラインが交差する地下道の拡幅、まがたま跨線橋の改修など、鉄道で分断されている南北の連絡と災害時の避難路確保について伺います。

(５) 京ヶ峰区東側傾斜地の災害防止、排水路の改修について伺います。

(６) 蓮台寺パーキングから直接市街地に連絡する道路建設について伺います。

(７) 押上「ひすい海岸」のジオパークにおける活用と整備について伺います。

(８) (仮称) 押上駅の新設について、新駅を核とした新しいまちづくりについて伺います。

２、新幹線開業への対応(その５) 観光スポットを巡るバスの活用、バス会社との連携について。

(１) 北陸新幹線開業に対応した路線バス、定期観光バス、シャトルバスその他の活用など糸魚川市の対応について伺います。

(２) 糸魚川駅周辺の見所を巡るのに便利なバスの運行について伺います。

(3) 海岸沿いを走り、日本海の眺めを楽しむバスの運行について伺います。

(4) 標高約 1,500m の蓮華温泉、標高約 1,000m の白池とブナ原生林、標高約 600m の木地屋の里を巡る白馬岳登山バスの運行について伺います。

(5) バスを活用したジオパークの学習、市内外の児童、生徒、学生が交流するバスツアーについて伺います。

(6) 吉本芸人の横澤夏子さんの顔写真をプリントしたバスの市内運行について伺います。

3、新幹線開業への対応（その6）系魚川のアーカイブス、映像・映画・録音・書籍等さまざまな記録の活用について、市民会館・図書館・歴史民俗資料館の3館と市役所を連携させる（仮称）系魚川市文化情報センターについて。

(1) 系魚川の知名度向上に役立つアーカイブスはどのようなものがあるとお考えですか、伺います。また、そういった資料に市内・市外の人が手軽に接することができる工夫はありますか、伺います。

(2) 1964年に公開された映画「越後つついし親不知」、1983年に公開された映画「檜山節考」は系魚川が撮影地となり制作協力した、いうなればザ・系魚川ムービーです。今も根強いファンを持ち、インターネット上での記事も多数見ることができます。こういった映画ファンに系魚川にお出でいただき、当時の資料を見たり、ロケ地を巡ることで、系魚川ジオパークの文化として楽しんでいただく工夫はありますか。

また、こういった有名な映画を手軽に見ることができる工夫はありますか、伺います。

(3) 1962年に系魚川で撮影され、全国公開された映画「夢で逢いませ」について伺います。

(4) 北陸新幹線系魚川駅から徒歩5分に立地する市民会館・図書館・歴史民俗資料館（相馬御風記念館）の3館と市役所を連携させ、（仮称）系魚川文化情報センターとして系魚川のアーカイブス、映像・映画・録音・書籍等さまざまな記録資料をさまざまな形で活用すべきと考えますが、いかがですか。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、学校、保育園と、その周辺には防犯カメラは設置しておりません。

子供の見守りにつきましては、防犯パトロール員が児童とともに登下校し、児童の安全確保に努めております。

2点目につきましては、防犯パトロール員、交通安全指導員の協力をいただき、交通事故の防止に努めております。

3点目のひすいブリッジにつきましては、安全基準を満たしていないことから使用禁止にしておりますが、早期に利用できるように改修する予定にいたしております。

また、公園等の遊具につきましては、毎年、点検を実施いたしております。

4 点目につきましては、蓮台寺地下道の構造上、線路への影響が大きいことから、拡幅は難しいと考えております。

また、まがたま跨線橋の改修につきましては、えちごトキめき鉄道と協議をしております。

避難路につきましては、既存施設の適正な維持管理により、その確保に努めてまいります。

5 点目につきましては、昨今の異常気象に伴う土砂災害の発生を踏まえて、引き続き県と協議をしてまいります。

6 点目につきましては、必要性や投資効果を調査した上で、検討する必要があると考えております。

7 点目につきましては、海の魅力アップ推進計画に基づき、地元の皆様と意見交換をさせていただきながら、整備を進めていきたいと考えております。

8 点目につきましては、新駅利用者の利便性に考慮した整備や、来訪者によるにぎわい創出効果を意識したまちづくりが必要であると考えております。

2 番目の 1 点目と 2 点目につきましては、糸魚川駅から観光施設への利便性、周遊性を高めるため、路線バスについて市街地循環線、美山公園・博物館線が通年運行されております。

また、季節に応じて市内をめぐる定期観光バスや、観光施設への無料シャトルバスを運行してきたところであります。

3 点目につきましては、夏季限定で糸魚川駅とピアパーク、マリンドリームを結ぶ無料シャトルバスを運行してきたところであり、楽しんでいただけたものと考えております。

4 点目につきましては、7 月中旬から 10 月中旬まで白馬岳登山バスを運行しております。今年度は、糸魚川駅からの利用者が大きくふえております。

5 点目につきましては、ふるさと学習の 1 つとして、バスを利用して市内のジオサイトを見学、学習いたしております。また、今年度、妙高市の小学校と市内の小学校が、バスを利用した交流事業を実施する予定であります。

6 点目につきましては、北陸新幹線開業に当たり関西圏で糸魚川を P R するため、吉本芸人として活躍をいただいております横澤夏子さんの顔写真を大阪市営バスに広告掲載をしているところであり、市内での運行については考えておりません。

3 番目の 1 点目につきましては、古い文書と伝統芸能等の記録映像や録音、書籍などがあり、それぞれ図書館の郷土資料コーナーや歴史民俗資料館などで閲覧や視聴が可能となっております。

2 点目につきましては、映画のロケ地となった海谷と親不知のジオサイトでは、内容を紹介する看板を設置いたしております。

また、映画の鑑賞につきましても民間のビデオ店もあることから、市では特段の取り組みは行っておりません。

3 点目につきましては、糸魚川市がロケ地となった映画であることは存じております。

4 点目につきましては、事業の内容によっては各施設の特徴を生かした連携や資料の公開を行っており、今後も糸魚川駅に近い良好な立地条件を生かせる取り組みを進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もございますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

では、地域の課題と市の対応についての2回目の質問をさせていただきます。

まずは防犯体制についてですが、先日の大阪寝屋川での事件など、子供を狙う卑劣な犯罪が後を絶ちません。このことをどう考えているか、また、糸魚川市の対応はどうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

今回の事件につきましては、どこでも起こり得る可能性がある事件だというふうに考えております。また、未来のある子供たちを狙う犯罪については、議員おっしゃるとおり大変卑劣なことと考えており、あってはならないというふうにもまた考えております。

今までも警察、市民、地域と連携協力しながら防犯活動に取り組んでまいりましたが、今後もより一層連携を深めながら、防犯活動に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

中央大通り線に接する東小学校、東保育園の周辺には、さまざまな商業施設や学習塾もできました。そこで夜間も子供たちの姿を見受けられますが、見守りには限界があります。家庭、地域、警察、行政が連携して、犯罪防止に取り組む市の対応を改めて伺いたいと思います。私は周辺の店舗や施設の防犯カメラの有効活用などで、犯罪抑止を進めたいと思います。これについてはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

民間施設の防犯カメラでありまして、今回の事件のように犯罪の捜査という点については、非常に役立つんだというふうに思っております。ただ、民間の防犯カメラにつきましては、それぞれの民間の施設の防犯という主目的があって設置してるものでございますので、直ちに子供たちに対する犯罪の防止、一般的な防犯ということについては、直接どれぐらい役に立てれるのかというふうなことについては、ちょっと難しいんじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

+

田原議員。

○ 13番（田原 実君）

難しくないと思うんですね。そこを警察任せにしないで、やはり市が子供たちの安全のために取り組みを進めるという姿勢で臨んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、通学路の安全対策について伺います。

主に信号、横断歩道、歩道の確保、除雪、地域の見守りをお願いしております。京ヶ峰区の要望である通学路のカラー舗装は、私も現地を見て区長と協議をいたしました。初日の質問で答弁がありましたが、地域や学校、保護者との協議は進んでいるか、まず伺います。

市は県との協議、警察との協議で、年に1回の会議で検討する。したがって、事業実施が進まないというパターンであります。このあたり行政改革をどのように進めていくか、あわせて伺いたいと思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

申橋建設課長。〔建設課長 申橋秀樹君登壇〕

○建設課長（申橋秀樹君）

区から出ている通学路等の問題ですけれども、区のほうと区長さんをはじめ協議をしながら実施をしているところであります。

通学路の安全対策ということで、要望実現に向けた各関係機関の協議、県とか警察ですけれども、年1回ということではなく必要に応じて協議を重ねておりますし、早急にできないものにつきましたは、他の手段の模索とかを検討しているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○ 13番（田原 実君）

よろしくお願いいたします。

次に、東小学校内の遊具、ひすいブリッジの安全性確保の対応について。

この件は9月の補正予算案にあることから概要にとどめますが、使用期間も長く安全基準に合わなくなったひすいブリッジ、何がどう危険なのか。また、地域、区長の要望で改修し、再利用する方向とこのことですが、実際に使用する子供や保護者の思いはどうか、管理する学校管理者の考えはどうか確認してありますか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

ご質問の系魚川東小学校のひすいブリッジでございますが、これは設置後27年が経過しております丸太組みの、PTAの皆さんが自前でつくった大型のアスレチック遊具のことでございますが、昨年、実施いたしました安全点検によりますと、基準を満たしていないという部分が何カ所か指摘をされております。1つは、高さが4メートルを超えるということで、現在の遊具の基準では3メ

ートル以内におさめる必要がある。また、ロープで編み目のような形になってるんですが、その柵目が中途半端で、体がすり抜けて首がひっかかってしまう可能性がある。あるいは、木柱の一部腐食がある等々の指摘がございました。

私どもは4月当初、これを撤去するという考え方で学校側とお話しておりましたが、地元の区長の代表とPTAの代表の皆さんが、非常に思い入れのある遊具であり、市に寄附したんだから市で改修をして使えるようにしていただきたいという要望があり、その後、学区内4区長の要望の中でも、同様の要望をいただいたところであります。

子供たちの意見を聞いたかということでございますが、直接、子供たちから聞くということはありませんが、学校長を通じて非常に子供たちに人気の高い、また、教育的な効果も高い遊具であるという評価をいただきまして、ならば何とか残す方法はないかということで相談をし、今回、改修という方向に方針変換をしたところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

この機会に、市内の公共施設内の遊具の安全性確保についても伺いたいと思います。

遊具の安全についての状況、これをデータベース化する。あるいは利用者へどう説明していくか。それから改修の必要のあるものは改修計画をつくって、順次、進めていただきたいと思いますが、そこら辺の取り組みはどうなっていますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

市内の公園の遊具につきましては、公園長寿命化計画及び公園台帳によりデータベース化しております。遊具の設置数及び健全度も把握しております。

遊具の安全確認につきましては、国土交通省の都市公園における遊具の安全確保に関する指針というのがありまして、それに基づきまして有資格者による年1回の定期点検を実施しております。また、目視、触診による遊具を含む公園施設の点検につきましても、担当職員が年2回実施しております。

それから利用者への説明につきましては、遊具に対象年齢、遊び方の注意事項のシールを貼付しておりますし、複合遊具につきましては、説明看板を設置しております。

なお、ふだんから事故につながる危険性を予見しながら、公園施設のふぐあいを発見した際には、速やかに使用禁止等の適切な措置を行い、措置の内容を記録し、安全対策を講じているところであります。

○13番（田原 実君）

改修計画。

○建設課長（串橋秀樹君）

失礼しました。

それで改修の必要のある遊具につきましては、毎年の点検結果を反映しまして、公園長寿命化計画に基づきまして改修を進めております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

子供たちが共同で遊具で遊ぶという場面が少なくなってきたようなふうに思いますね。それで遊具の安全性を早く確保して、子供たちが屋外で遊べるような環境を整えていただきたいということで、お願いしたいと思います。

次に、市道蓮台寺線とえちごトキめき鉄道が交差する地下道の拡幅について、詳細を伺いたいと思います。

先ほど市長からは、難しいよねというお話をいただきました。ただ、これやっぱり長年の課題なんです。そこで今回、伺うんですが、普通車がすれ違うことができる最低基準で道路幅をとって、片側に最低基準で歩道をとるとなると、何メートルの幅が必要なのか、現況の地下道をどのくらい拡幅すればいいのか。そのための工事費というのは、概算で幾らぐらいかかるかということを改めて伺いたいと思いますが、お願いできますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

まず、現在の地下道ですけれども、日本国有鉄道岐阜工事が北陸本線複線化時に施工いたしております。それは昭和44年8月に竣工したもので、延長31.2メートル、幅員4メートル、高さが3.5メートルのボックスカルバート構造であります。それに前後がスロープになっているということもありまして、高さ制限は3.3メートルとなっております。また、レール面からボックスの天端までの土かぶりが非常に少ないため、また延長も長いため、現在のボックスを含めた拡幅というのは困難な施工になることが考えられます。

それから車がすれ違えるようにというには、どれくらいの幅員が必要かということですが、現在のボックスの幅員は4メートルで1車線であります。

それと、平成23年度に南側で取り付け道路を改良しましたが、その幅員が片側3メートルの2車線、路肩が両側のそれぞれ0.75メートル、東側に2.5メートルの歩道がありまして、全幅で10メートルでありますので、それと同じ幅員が必要になると考えております。

現時点としましては、市として事業実施の決定をまだしておりませんので、概算工事費というのは見積もっておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

今、ご説明をいただきました地下の通路、これでありますね、わからない方もいらっしゃると思うんで、一応、このように準備させていただきました。

私が伺いたいのは、今、事業の計画にないからというお話でございましたですけど、もうずっとこのことは地区要望で出てるんですよ。ですから、この高さも最低基準、救急車等が通る最低基準、この幅もずぼっと抜けてなくてもいいと思うんですよ。途中に壁や柱があってもいいと思う。2つ往復できて、そして歩道がとれるという、その最低のところで検討してみるべきじゃないかと思うんですよ。今まではJRが絡んでくるんで高額の工事費が予想されるということからも、もうそれは大変だからやりませんよということでしたけども、えちごトキめき鉄道に移行したこの時点で、そういったことを糸魚川市の技術力をもって、一度検討してみる必要もあるのではないかと。それが地元に対する行政の誠意ではないかと私は思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

確かにこの拡幅の要望につきましては蓮台寺4区協議会から、何年も前から出されております。ただ、非常に高額なお金がかかるということもありまして、将来的にもやらないという意味ではないと思いますけども、早急の事業実施に向けては難しいということで、事業実施に向けて考えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

課長、今おっしゃった高額なお金がかかるというのは大体幾らですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

今まで区の要望を受けておったときは、類似工事を見まして20億円から30億円という曖昧な数字を言っておりましたけども、現実には青海地域で市道川原線というアンダーボックスがあります。その工事費は大体三十数億円だったと聞いておりますので、数十億円かかるのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

ここを見てください、ここを見て調べてやりましょうよ。一度、設計をつくっていきましょうよ。そのくらいのことはできるでしょう。市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

+

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり交通量にもよるわけでございますので、厳しい財政状況の中においては、やはり優先順位は、多くの皆様方がご利用される施設のほうに使っていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

そこで伺いたいことは鉄道で分断された南北、災害時の避難路確保ということですよ。まがたま跨線橋は、もうぼろぼろになってますよね。それから、ここのところも非常に狭くて危ない。そうすると地域の南北が、どちらかに避難をしなければいけないときはどうしたらいい、お答えいただけますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

現在の蓮台寺線の地下道やまがたま跨線橋、その東側に市道古新田線の地下道がありますけども、それらを適切に管理していきたいというふうに、災害時の避難路確保に努めていきたいと思っておりますけども、今、若干まがたま跨線橋について説明させていただきたいと思います。

平成24年度に補修工事を含めた詳細調査設計を行っております。そのとき鋼板の板厚調査を実施した結果、支部材に大きな減肉はありませんけども、副部材に一部において許容範囲を上回る減肉があるということでありまして、橋梁本体につきましては、耐荷性能は低下していないとの調査結果になっております。

ただ、鋼材のさびが非常にひどくて、外観上状態が悪く見えますけども、今すぐに落橋するような状況ではないということでありました。しかし、調査から数年経過しておりますので、経年変化で劣化がどんどん進んでいるということでありまして、早急な対応をしなければならないと考えております。

それで危険箇所の確認につきましては、職員により随時、現地を確認しております。また、今年度、一部階段の鋼材に穴があいた箇所もありましたので補修を行っておりますし、また、それ以外の腐食の進んだ箇所や歩行に支障となる床面のコンクリートの劣化箇所についても、近日中に補修工事をする予定にしております。

また、抜本的な修繕工事につきましては、えちごトキめき鉄道に移行直後であったため、国土交通省と県から県内の橋梁修繕実施市町村の対応について協議をしていただいたところ、営業運転していくことで精いっぱいであるということ、委託工事を実施する余裕はないということでありました。しかし、それでもと思ひまして、ことしの8月に入りまして市が独自でえちごトキめき鉄道にお伺いして協議しましたところ、協議に応じてくれるということになりましたので、今年度中に

計画協議書を提出しまして、今後の手続や工事の進め方、施工年次等について協議を進めていきたいというふうに思っておりますので、一步前進したかと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

その一步は遅い一步でしたね。これはまがたま跨線橋の写真でありますね、わからない方がいらっしやるかもしれないので、一応。これはもう本当、腐食が進んでさびさび。窓の中格子の金網も切れてぐらぐらなんです。踏み面もコンクリートが取れて中の鉄線が見えているんですよ。ここを通学路として子供たちが歩いていると。穴のあいた床と階段部分は、確かにふさいで塗装してあります。しかし、ここで事故が起きた場合の責任は誰がとりますか、そこを確認させてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

跨線橋の老朽化のふぐあいでもって事故が起きた場合ということであれば、もちろん道路管理者である市だと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

教育委員会はどう考えますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹田教育長。〔教育長 竹田正光君登壇〕

○教育長（竹田正光君）

お答えいたします。

通学路というのは教育委員会が認定している通路に当たります。したがって、通学路上で事故が発生した場合に、教育委員会のほうで責任分担しなければいけないと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

わかりました。

じゃあ次に京ヶ峰区の東側傾斜地の災害防止、排水路の改修について伺います。

もし斜面崩壊等の災害が発生した場合、今のままと、何らかの防災工事がしてあった場合とで大きな差があると思いますけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

仮に大雨等で斜面が崩壊した場合、どこの傾斜地でも言えることでありますけども、法面对策工を施してあれば、災害の規模にもよりますが、被害は少なくなると考えられます。

また、背後地の傾斜地の斜面崩壊に対して地区内の排水路、いわゆる道路側溝の改修により、それを防ぐ効果は期待できないと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

排水路の改修がなぜというと、斜面が崩壊して出てきた土砂、特に水がその中をずっといくわけですけど、今、狭いわけですよ。もう道にあふれるわけ、危ない。だから側溝も同時に改修しなければいけないということから質問を挙げてるんですよ、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

それは危険な斜面の対策工事をして、そこに集まる排水路をもう少し大きくして導くということであれば有効でありますけども、道路の30センチぐらいの側溝を改修したとしても、そういう土砂崩れについては、あまり貢献できないのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

昨年も私、この質問をさせてもらって1年たちました。それで市で現地調査、地盤調査をされましたかね。県任せにして、そのままにしているませんか。各地でおきている災害被害が拡大している原因に、行政対応のおくれがあります。この責任をどう考えますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

串橋建設課長。〔建設課長 串橋秀樹君登壇〕

○建設課長（串橋秀樹君）

京ヶ峰区の東側斜面につきましては、平成21年度に新潟県で基礎調査が行われまして、翌年、平成22年に土砂災害防止法の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域に指定されました。警戒区域内には一部の住宅が入っておりまして、昨年の秋には西側の整備が、ことし終わるということでありましたので、引き続き、東側斜面に取り組んでほしいと地域整備部のほうへ要望を出しました。

その後、県の本庁から現地を見に来ていただいております。そしてまた、ことしに入りまして

7月に、4区連絡協議会の要望会で京ヶ峰区から要望をいただきましたので、再度、また県の地域整備部へ要望に行きました。そして現在まで、どういう進捗状況かということをお聞きしましたところ、県庁と協議しているということでありました。

それから市のほうでは昨年とことし、現地に設置されている擁壁周辺を現地調査を行っております。そして擁壁の背面のポケットや排水路に土砂が堆積しないということを確認しておりますけれども、地盤調査までは行っておりません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

京ヶ峰区傾斜地の災害防止工事、排水路の改修については1つの具体例として挙げていますが、こういった場合の地域住民の理解や納得というものを行政はどう考え、対応しているのか。

災害時の対応で、自助・共助・公助とよく言われますが、災害防止においては、まず行政からの防災の工事があってこそその公助だと私は思います。そこがしっかりしていないと、自助も共助もないのではないのでしょうか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

斉藤産業部長。〔産業部長 斉藤隆一君登壇〕

○産業部長（斉藤隆一君）

田原議員からご指摘いただいている点につきましては、よく理解するものであります。ただ、市内に地すべりの危険箇所というのが五百数十カ所ございます。もちろん昨年11月に成立した土砂災害防止法のいわゆる一部改正ですけれども、この中では、この法律を1つもって住民の安全を守るということは不可能です。といいますのは、田原議員の言われるハードも大事ですが、やはりハードとセットにした住民の皆さんによるソフト施策が相まって、人命を守るという1つの仕組みも、一方ではご理解いただきたいというふうに思っています。

どちらが先行するかというのは、やはりいろいろな条件によって変わってきますけれども、土砂災害防止法は、あくまでもソフト施策を打ち出してるものでありますし、ハードであれば砂防法があったり、また別の法律で実施されることになりますけれども、あくまでもハード・ソフト両面で人命、市民の命を守るということをしていかなければならない。おのずとお金のかかることもありますので、全市一斉というわけにもいきませんし、一挙にやるというわけにもいきません。優先度を見ながら、その辺の対策は講じていかなければならないと思っておりますので、ご理解のほどをお願いしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

丁寧なご答弁でありましたので、このことは課題として残しておきたいと思います。

次に、蓮台寺パーキングから直接、市街地に連絡する道路建設、このメリットをこの機会にお考

えいただきたいと思います。

例えば医療、救急搬送におけるメリットというのはあるんじゃないか、あるいは観光アクセスのメリットもあるんじゃないかと。フォッサマグナミュージアムへ迷わず直行できますし、天津神社、かねこつつじ園、翡翠園、谷村美術館、押上ヒスイ海岸、海谷溪谷などジオサイトへのアクセスが大変によくなります。救急医療のことの面と、それから観光の面、それぞれちょっとお考えいただけますか、ご答弁いただけますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

救急医療面ということであります。

市内に通っております高速道路の中で、直接、高速道路に乗り入れできるというところは、例えばガードレールを外したりというような形での進入が可能な地区もありますけれども、蓮台寺のパーキングエリアにつきましては、パーキングエリア内で急病が発生したという場合には、裏手から入って担架を持って傷病者のところへ行くというような対応を実際としておる事例もございますので、現状では今のままでよろしいのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

地元の総合病院での救急対応が、なかなか難しくなっている。そこで市外への搬送ということも、前提に考えなければいけないというところから話をさせてもらっております。その点はどうですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

○消防長（大滝正史君）

お答えします。

市外への救急搬送ということでございます。

市内での救急搬送の90%ぐらいが、糸魚川総合病院へ収容をさせていただいております。そこから例えば上越市内、それから富山県内への搬送ということがあるわけですが、今、議員の言われるように近いところに進入路があればいいというのは、物理的に時間的に非常に有効ではあるというふうに思いますけれども、現状では能生インターを使ったり、糸魚川インターからという状況で対応しておりますので、スマートインターとかそういうようなわけにも、なかなかいかないのかなというふうに思います。現状の中で、対応をさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

観光アクセスについてどうですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

観光的には、今のご提案につきましては一定の効果はあるものと思っておりますが、このたび中央大通り線と148号が接続しました。糸魚川インターから148号、そして中央大通り線、そして後生山線を通してフォッサマグナミュージアムといった太い道路ができております。基本的には、この道路を生かしながら、観光面を進めていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

糸魚川は首都圏から遠いだけじゃなくて、市内のアクセスというのが非常に悪いんですよね。これを少しでも改善していただきたいということで、提言をさせていただきました。

次、押上のヒスイ海岸のジオパークにおける活用と整備についてでありますけども、改めて関連する担当課に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

アクセス道路につきましては、まだまだ課題が多いわけでありまして、実施計画等に基づきながら、市として着実に整備を進めてまいりたいというように考えております。

○13番（田原 実君）

ヒスイ海岸との関係。

○交流観光課長（渡辺成剛君）

失礼しました。

ヒスイ海岸につきましては、昨年度策定しました海の魅力アップ推進計画に基づきまして、地元の皆さんと意見交換しながら進めてまいりたいと思っております。いずれにしましても、日本海に一番近い糸魚川駅というPRを進めておりますので、その中で可能な限り整備に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

しっかり取り組んでいただきたいと思います。

それで次の質問ですけど、ヒスイ海岸と言えば富山県朝日町と糸魚川市、どちらが有名ですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

ヒスイ海岸ということで糸魚川市と朝日町それぞれが、今、PRに努めているところであります。それぞれが有名だというように思っているところでもありますけども、インターネットのネット検索でやると、朝日町のほうが上のほうへ出てくるということでありまして、そういうのを踏まえながらPRにさらに努めていきたいなというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

おっしゃったとおりネットで検索すれば、圧倒的に朝日町なんですね。有名な漫画「サザエさん」のテレビでも、朝日町のヒスイ海岸が紹介されました。また持っていかれたという感じですよ。ヒスイの原石、ヒスイ文化が売りの糸魚川市、世界ジオパークを自負する糸魚川市、ヒスイの本家本元は糸魚川じゃないんでしょうかね。市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

確かに海岸線の中で近いところに位置する朝日町と糸魚川は、今、ヒスイでそういった海岸線で競い合う部分がございます。しかしながら新幹線開業を機に、ご承知のとおり北アルプス日本海広域観光連携会議をつくらさせていただきました。お隣と一体となって進めていこうという、今、形になっておるわけでございまして、その中で我々は連携をとっていけばいいと思っております。

どちらにしても、やはりヒスイが出るわけでございますので、その辺、向こうが先に声を出して先行しとるわけでございますし、だからといって我々のところにヒスイはないかということ、あるわけでございますので、その辺をしっかりと出していけばいいと思っておりますし、例えば年に2回行われます首都圏での鉱物博みたいところの中においてはヒスイは糸魚川と、糸魚川ヒスイというような形の中で非常に注目を浴びてるわけでございますので、幅の広い関係プレーをしながら一体となって取り組めば、さらに多くの人たちが来ていただけるんじゃないかなと思っていますので、

これからも連携をしながら、お互いにやっぱり長所を生かしながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

市長、頑張ってください。やっぱり糸魚川を上位にもっていきましょう。

それで、この質問をさせていただくのは次の質問にも関係しますけども、やっぱりヒスイ海岸、押上海岸ということで進めたいんですね。それで（仮称）押上駅の新設、新駅を核とした新しいまちづくりということで、再度、質問をさせていただきますけども、この駅の新設に関しましては新潟県知事も乗り気というふうに聞いていますが、その予算づけ等についてはどうなっていくでしょうか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

新駅の設置につきましては、国の補助金を使うスキームに載せるために、来年度の予算化に向けて県、それからえちごトキめき鉄道と三者で協議を行ってるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

予算づけはどうなっていくかという質問もあったんですけど。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

予算づけについては、今、国が3分の1、それから県、市とどういうスキームになるかということも検討しておりますし、来年度の予算化に向けて、今、協議を行っるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

この事業主体は鉄道会社かもしれませんが、プロジェクトリーダーは糸魚川市ですよ。そして新しい駅建設は、地方創生のプロジェクトですよ。押上区は以前から、駅を核にしたまちづくり計画を考えて地元の体制を整えています。地元として協力を惜しまないと、説明会や懇親会で情報共有をしてほしいと押上区役員会は意思決定して、新駅設置プロジェクトチームもあると区長から資料

+

をいただいております。これがそうであります。

先日も行政から駅建設の説明会があったと聞きました。市は何を説明しましたか、また、地区の反応はいかがでしたか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

説明会につきましては、今春１月から３月にかけて行いました新駅整備箇所の箇所別調査の調査結果を報告しまして、施設規模だとか概算工事費、それから実現に向けた課題と対応等を説明させていただきました。それで地区の反応といたしましては、地区も先ほど言われたように協力も惜しまないということで、早く開業してもらいたいということでした。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○１３番（田原 実君）

そこまできているなら市がスケジュールを定めて、地方創生のまちづくりとして推進すべきだと私は思います。

押上区が掲げる文化的で安心して住める魅力的なまちづくりの推進、市の対応を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

○定住促進課長（渡辺 勇君）

新駅を設置するには、設置するだけではやはりためなので、設置することによるまちづくりと、それから地域ににぎわいづくりが重要だというふうに思っております。

そういった面からも押上の皆様については、計画等とかアイデア等をお持ちでございますので、今後、協議をする中で、魅力的なまちづくりを考えていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○１３番（田原 実君）

よろしくお願いします。

では、バスの観光活用について２回目の質問をします。

まず、新幹線開業のタイミングで新幹線効果を出すため、市がバス会社と進めたことは何か。路線バス、定期観光バス、シャトルバスでのバス利用促進の詳細を改めて伺います。

また、駅南口からバスに乗れるようになりましたが、利用者への対応は十分か、また、そのメリットは出せているか、担当課に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

まず、路線バスにつきましては、フォッサマグナミュージアムへのバスということで、土曜、日曜、祝日、1時間置きにバスを発着しておりましたが、平日の利用もといった声も踏まえる中で、元日を除く毎日1時間置きに、美山公園・博物館線ということでバス路線を開設したところでございます。

それから定期観光バスにつきましては、これまで日本海口発着という形でありましたけども、今回を機会にアルプス口に乗っていただいて終点は日本海口、ヒスイ王国館の前で終点といった形で、最後にお土産を買っていただきたいという意味もありまして、こういう形でことし運転をさせていただいております。

それからシャトルバスにつきましては7月20日から8月20日まで、糸魚川駅とマリンドリーム能生、糸魚川駅と親不知ピアパークという線を結んで、運行させていただいているところであります。

先ほどの美山公園・博物館線でいきますと、1日の乗車人員が約1.5倍弱といった数字が、今、出るところで、一定の効果はあったものというように考えております。

それから南口のバス乗り場の誘導でございますが、自由通路内に、南口にバス乗り場があるといったような表記をさせていただいておりますが、表記全体として、バス乗り場以外の全体として、若干、まだわかりにくいといったようなご指摘もありますので、今、関係者の皆さんと協議をしているところでございますが、よりわかりやすい表示に変えていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

わかりました。

今、お話に出ました駅とフォッサマグナミュージアムをつなぐ美山公園線、これと市街地の循環バスが連携すると、まちめぐりに便利なバスになると思います。現状の取り組みと課題は何か、担当課に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

2つほど課題があるかというように思っております。

1つは、循環線が長い路線になりますと、目的地へ行くまでに時間がかかる場合があるということで、短時間で目的地へ行けない場合が出てくる。また、2つ目としまして、短時間で循環することにより、同じ時間に出発するダイヤを組みにくくなるというようなことが予想されます。こう

いったこともありますけども、今後、利用者の声に耳を傾けながらよりよいダイヤとなるよう、バス会社等と話し合いを進めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

なるほど。私が感じるところはホームページでの案内、それからバス路線等時刻の表記、また、観光案内所での対応というものをよくする、そういったことも課題ではないか。

それから糸魚川を初めて訪れる観光客、外国人旅行者への対応としてバス停留所の表記、それから親切な車内案内放送なども必要だと思います。今後の対応も含めて市や観光協会、どのようにしていくか、伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

これまでの取り組みということで、例えば「京ヶ峰2丁目」という表記を「京ヶ峰2丁目（谷村美術館前）」といったような、地名と観光施設が結びつくような取り組みをしてまいりました。

また、これ以外にも幾つか取り組みをしてきたところでありますけども、例えば外国人対応、それから車内放送の課題といったような、今、ご指摘の部分もありますので、いずれにしましてもよりよく、そして観光客にとってわかりやすい案内にできないかどうか、糸魚川バス、また観光協会等と話をしながら、進めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

この機会に、もう少しお話をしたいんですけど、バスのルートづくりということも大切ですが、例えば谷村美術館といった施設から情報発信というものも不足しているんじゃないかと。施設からの情報発信、それからルートづくり、これがうまく連携していかないと、バスに乗っていただけないということも感じます。

都会なれした観光客にしてみると、運行本数が少ないと非常に不便だというふうに感じることもあります。そこで観光情報を出す、それからバスの本数もふやすような対応にもっていくということが、新幹線でおみえになったお客様が、バス利用するということには必要な戦略となっていくのではないかと思います。

そのことを市がリードして策を練る、実行する、チェックする、改善するということが必要だと思いますけども、こちら辺の対応をどうされるか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

議員おっしゃいますように、施設からの情報発信というのものはきちんとし、また、さらにふやしていく必要はあるかと思っておりますし、ご指摘の幾つかの課題も感じております。

こうした中で、今言われるような市と観光協会、バス会社といった場で話し合うということも、今後、進めてまいりたいというように思っておりますが、いずれにしても観光客をふやす、観光客が楽しんでもらう、その結果、糸魚川のバス会社も潤って本数がふえていくといったような正の好循環といえますか、そういった循環につながるような努力をしてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

わかりました。

せっかくですので、きょう話に出ましたシャトルバスですね、海岸沿いを走って能生、青海へ行ったシャトルバス、これアンケートをとられたというふうに伺ってますけども、その結果、それから今後の取り組みについて伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

7月20日から8月20日まで運転させていただきましたが、ご乗車いただいた数が723人ということでございます。1日の最大乗車人員は駅からマリンドリーム能生までが1台当たり22人、同じく親不知ピアパークが22人といったことで、一定の成果があったものというように考えております。

アンケートにつきましては、どこからお越しいただきましたかというアンケートに対しまして、市内という方が29%、約3割、それ以外が市外ということであります。市外の中でも東京が22%、長野10%ということで、新幹線沿線の方からご乗車いただいたのかなと思っております。

それから2次交通という面で、シャトルバスに乗るまでどんな交通手段で来られましたかという質問に対して、北陸新幹線で来たという人が32%、在来線で来られたという方が23%、合わせて55%の方が鉄道を使って来られたといった数字をいただいております。

今後、こういう成果を踏まえながら、鉄道を利用して、さらにバスを使っていただいて、議員おっしゃられますように公共交通機関だけで移動できるようなといったようなことが、より図られていけばいいかというようなことを考えており、そういった方向に向けて努力してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

わかりました。

では、質問に出してあります白馬岳登山バスの運行についても伺います。

以前はこの路線は黒字と聞いていたんですけども、今は市で補正予算を組まなければいけないほど利用が落ち込んでいるという、その状況を少し詳しく教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

資料のある範囲ということですが、平成14年度、この蓮華登山バスにご乗車いただいた方が約4,400人でした。これが昨年度、平成26年度は約2,100人ということで、約半分に今落ち込んでおります。こうした中で、私ども補助金につきまして議会にお願いをさせていただいて、また、運行してるところでございますけども、ことしの乗客ですが、7月から8月までで120%ということで去年より20%、今、多い状況であります。こうしたことから、山の魅力ということをお伝えしながら、ぜひ蓮華に行っていただきたい、山へ行っていただきたいというPR活動に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

今、課長、上手に答弁されましたけど、やはりここ最近、この路線ですよね、名前は白馬岳登山バスというふうにしたのだけれども、例えば隣の小谷村や白馬村のように、自然や山岳文化の魅力を多くのお客様に提供できていないんじゃないかと、そういった観光戦略がないんじゃないかと。新幹線開業の今のタイミングで行政もバス会社も、意識改革する必要があるんじゃないかと私は思うんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

議員おっしゃいますように小谷村、白馬村との連携というのは非常に大事だと思います。これまでもそれぞれの施設にチラシを配布したりしておりますけども、今、北アルプス日本海広域観光連携会議がございます。こういった会議を通じまして、さらに白馬村、小谷村、糸魚川市と連携をとる中で、広域的に山の魅力を味わっていただくといったPRに努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

それに必要なことなんですけど、私の質問の趣旨は、乗車される人が多かった路線バスをもっと観光的に使って利用者をふやす。その戦略というものを、糸魚川市が持たなきゃいけないんじゃないですかというお話をさせていただいてるんですね。

蓮華温泉はマイカーがふえまして、駐車場に困っている状況です。しかし、平岩からの道中にある木地屋の里や白池に立ち寄るお客様は少ないと。木地屋の里や白池は、糸魚川の宝物ですよ。この活用がないのではないかと。ジオパークの宝物として白馬岳登山バス、木地屋の里、白池をどう活用するかということが大事ではないかということで、いま一度、担当課のお考えを伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

蓮華線の中には途中、おっしゃられますように白池、木地屋の里といった、市がお金を出す中で整備を進めてきたところもございます。まさに議員ご指摘のとおり、糸魚川市の観光の1つの目玉でもあります。今現在は蓮華温泉、そして白馬岳といった誘導を進めているわけなんですけども、こういった白池、木地屋の里といった魅力も高められるよう、いろんな方と話し合いをしながら、この中でより広域的な移動ができるような形で、検討していきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

例えば蓮華温泉までというのは結構、道中長いんですね。白池までのバスツアー、週末だけのシャトルバスのツアーというものもご検討いただきたいなと思います。

ただ、現状ではバスのお客さんは、白池を回る遊歩道があることすら知りません。それから木地屋の里でバスのお客様はおりません。そこに国の指定文化財があることを知らないからだと私は思います。

観光と文化と自然観察、これはジオパークにとって非常に必要なことですよね。ここらあたりの取り組みがばらばらだから改めていかないと、ここのところの活用も進まないし、ジオパークも進まないんじゃないかなというふうに考えますけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

議員おっしゃいますようにジオパークは、まさに物語をつくることだと思います。温泉があって、そして木地屋の文化があって、そして標高1,000メートルの白池があってといったような、それぞれの施設を結びつけるような形で物語をつくる。すなわち、それがいわゆる回遊性を高めていくことだと思います。そういったことが、この路線バスを生かしながらやっていけないかということとを、あわせて検討してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

ここでもう1つ提案したいんですけど、登山はきついという高齢者や女性客に楽しんでもらうように知恵を絞るべきだと思うんですね。

唐突な質問になるかと思いますが、ジオパーク室長だった観光課長に伺いたいんですけども、朝一番で東京を新幹線で出て、そして糸魚川へ来ました。そして今のこの蓮華のところを遊んで、また糸魚川から日帰りで帰れるという行程が可能なんじゃないかなと私は思うんですけども、そこら辺いかがでしょうか。課長からの何かお考えがあれば伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

今回の蓮華線のバス時刻につきましては、北陸新幹線に乗ってということ意識しながら、糸魚川バスさんと相談する中で決めさせていただいております。

例えばの例でいきますと、新幹線を東京でという例でございますが、6時28分に東京を出た場合に、糸魚川駅には8時46分に着きます。蓮華線の9時のバスに乗りますと蓮華温泉に10時35分に着き、10時35分に着いた後、蓮華温泉には15時30分まで滞在することができます。15時30分のバスに乗って行って、最終的に東京には20時ちょうどに着くといった形で、所要時間約5時間ぐらいの中で、お楽しみいただけるといったコースも設定できます。

また、長野の方ですと、もう1本早い電車に乗っていけば、白池で1時間楽しむといったこともできますので、ダイヤを工夫をしながら、どんなことが観光客の皆さんにとって楽しむことができるかといったことにつきまして、情報提供を進めながら、こちらへの誘導に努めてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

ありがとうございました。

新幹線のおかげでいろんなことが可能になってきましたね。みんなで知恵を出し合いましょう。

そこで今度は、子供たちが交流するジオパーク学習ツアーということであります。

こちら辺も少しずつは進んでいるようなふうに伺いましたけれども、バス会社に私、ちょっと伺いましたら、以前、ジオ学習ツアーの定期観光バスを企画したことがあったけれども、市内の学校からの申し込みがなかった、それでやめたというふうに伺いました。その理由は何だというふうに思いますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

市内の学校では子ども一貫教育方針に基づきまして、ジオパーク学習を進めております。その中で各ジオパークを見学するといった取り組みが、授業の中で行われてるということで、土・日、別に出かけるといったことが少ないんじゃないかというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

子供たちの学習ツアーに限りませんが、学習ツアーをバスで行うといったときに、バスはただの移動手段ではなくて、眺めのよい教室になります。首都圏から新幹線に来る日帰りのお客さんのための学習観光のルート、それからモデルコースをつくる。そういったことがジオパークの活用として必要なことだと思いますけども、改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

まさにジオパークの場合、そういったツアーというのも非常に有効なところでございます。今、定期観光バス等運転しておりますけども、その中でもガイドが案内をして、ジオパークを伝えていくといったような取り組みを進める中で、フェイス・ツー・フェイスで情報を観光客の皆さんにお伝えしてまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

質問の2の最後のところになりますけど、横澤夏子さんの顔写真をプリントしたバスの運行、大阪で走っているということなんですけども、これによる反応みたいなものというのは、何か寄せられていませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

昨年度から関西の皆さんに糸魚川を知っていただくということで、大阪市営バスにラッピング広告を出しております。そういった中で、ラッピングを見た方から糸魚川の地元の新聞社に写真提供があったり、あるいは関西糸魚川会の会員の方がホームページで紹介するといったようなことで、関西の方にも少しずつ認知が高まってきているのかなというように感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

最後に提言になりますけど、横澤夏子さんの顔や、あるいはブラック焼きそばの写真をバスにつけるには、ラッピングはお金がかかるんですけども、正面の一部だけのバスマスクであれば、比較的手軽にできるんだというふうに伺いました。その方法で当市出身の俳優の永井 大さんが出演するドラマ、それから糸魚川のイベントの宣伝も可能だということでもあります。バス会社と連携して、バスをさまざまな形で有効に活用すべきと考えますけども、この点はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

バスマスクの活用につきましては、今回の蓮華線の事業でもバスマスクというものをつくって、PRに努めているところであります。

今、ご提言の部分につきましては、全体の観光誘客戦略を考える中で、バスマスクの活用についても検討してまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

では質問の3、糸魚川のアーカイブス活用について2回目の質問であります。

まず、糸魚川という歴史と文化が豊かなまちのアーカイブス活用、担当課はどう考えているか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

お答えいたします。

糸魚川はヒスイ文化、埋蔵文化財、有形・無形の指定文化財、あるいは相馬御風のさまざまな著作や郷土にかかわる書籍など多くのアーカイブスがあり、これまでも公開、活用をしてきております。

今後も活用を進めてまいりますけれども、新幹線開業を機にマスコミなどでも糸魚川が取り上げられる機会がふえていと感じておりますので、そのような機会を捉えて市内外に糸魚川の歴史や文化を発信するということも、活用の一面ではないかと感じております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

私は市民会館、それから図書館、歴史民俗資料館の3館と市役所の4カ所で、さまざまなアーカイブスを保有していながら、これが一体となって活用されていないように思います。その点いかがですか。また今後、どんな取り組みが考えられますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

それぞれの施設の設置目的がございますし、また、それぞれの業務、事業を行っておりますので、常時あるいは頻繁に、一体となって活用しているという状況ではございませんけれども、市長答弁のとおり事業、あるいはイベントの内容によりましては隣接する3館と市庁舎、それぞれの特徴を生かした連携をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

アーカイブスはたくさんありますが、今回質問の映画「越後つついし親不知」や「檜山節考」をもっと活用していただきたいと。また、どのように活用したらいいかということは、市民の声も聞いて進めていただきたいというふうに思います。その点いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

その2つの映画は、糸魚川の自然や風土などをうかがえる内容ではないかというふうに思います。

ただ、「越後つついし親不知」は成人指定の映画でございますし、「檜山節考」もどちらかといえば成人向けの映画と思われるので、教育委員会文化振興課といたしましては、直接的にそれを活用していくということは、少し難しい面があるんじゃないかなというふうに思いますが、市長答弁いたしましたとおり、ロケ地となったジオサイトでは看板で紹介をしておりますので、これにさらに光を当てるといったようなことは可能ではないかと感じております。

また、市民の皆さんの中で活用についてのアイデアがございましたら、お声を伺いながら連携した取り組みについて検討してまいりたいというふうに考えます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

1962年に糸魚川でロケし公開された「夢で逢いませよ」という映画は、糸魚川市が協賛し、当時の風景や町並みも随所で見ることができる貴重な映像アーカイブということですが、当時のロケの状況を知る記録というものはありますか。市の公文書としては何か残っていますか、調べてごらんになりましたか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

調べてみましたところ、旧糸魚川市の広報「いといがわ」昭和37年6月10日号で、ロケの様子ですとか、スタッフ、キャストなどが記事になっておりました。現在も縮刷版で読むことができますけれども、それ以外の記録につきましては、残念ながら入手しておりません。

なお、文書などの記録ではありませんけれども、ある程度の年齢の方からは、ロケや上映の記憶があるという話を伺っているところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

この映画の中では、糸魚川の地名とヒスイが出てくるそうです。おまけに「糸魚川エレジー」というヒスイをたたえる歌まで歌われるという。議会一般質問の間ではありますけれども、せっかくの機会ですから担当課より市民に向けて、この映画について遠慮せず、少し詳しくご説明いただければと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

先ほど申しあげました広報の記事によりますと、ロケは昭和37年5月16日から4日間、糸魚川で行われまして、封切りは7月下旬というふうに掲載されております。平岩駅、美山公園、糸魚川駅前通りなど数カ所でロケが行われ、黒山の人だかりでにぎわったというふうにあります。

ストーリーは、平岩駅近くの旅館の娘で、主役の中尾ミエ扮する女子高校生が上京し、当時の東京ですけれども、芸能界のさまざまな思惑に翻弄されながらも、歌手として人気を博するというミュージカル仕立てのサクセスストーリーとなっており、池内淳子、あるいは宝田 明といった有名なタレントや歌手が数多く出演をしております。

当時はモノクロからカラー映画に変わったころでありまして、映画の前半を中心に糸魚川の風景がカラーで多く映し出されるほか、主役がヒスイのペンダントを糸魚川産だと自慢する場面などもありまして、広報の記事でもカラー映画を通じて糸魚川が全国に紹介されることになるというふうに結んでおります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

今お話をいただいたように、当時の東宝のスター、それから渡辺プロダクションの有名なタレントさんがたくさん出てくるこの映画ですね。もし今このようなものをつくったら、製作費は幾らかかるかということなんですけど、担当課でおわかりになりますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

磯野文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 磯野 茂君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（磯野 茂君）

これまで市で映画制作に取り組んだということも聞いてございませし、そのような映画がどれぐらいで作製できるかというのは、ちょっと想像つきかねるところで、お答えしかねるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

市内の映画に詳しい方に聞いてみましたらば、この映画の製作費はわからないけれども、割と最近の映画で全国各地からロケ誘致で引っ張りだこだった「釣りバカ日誌」という映画、これの製作費が1本当たり約2億円くらいではないかというお話を伺いました。

億単位の製作費がかかったアーカイブスとなれば、これを眠らせておく手はないんじゃないかと思います。このような映画があることを、私もつい最近まで知りませんでした。米田市長はご存じでしたですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

1番目のご答弁をさせていただいたときに申し上げたときに申し上げたとおり、私も見ておりますし、私自体もそのロケは立ち会ってはいないんですが、おやじが見たという話を私も聞いておりますので、恐らくテレビで見たんだろうと思うんですが、再生した「夢で逢いましょ」は見ております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

新幹線開業後のこのタイミングで、糸魚川のアーカイブというものを調べ直して市民に知ってもらおう。今のこの「夢で逢いませよ」という映画を、まだ見たこともない市民もいらっしゃると思うんですね。また、糸魚川、ヒスイというものが出てくるということは、糸魚川の宣伝や交流人口の拡大にも役立てることができるのではないかとことを思うんですけども、ここら辺の取り組み、市長、いかがでしょうかね。何か。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほど見たと言ったんですが、もう記憶も途切れ途切れな部分でございまして、果たして使えるかどうかというのはちょっと見てございませんで、改めて見させていただいて、使えるかどうかを判断したいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

田原議員。

○13番（田原 実君）

この映画が撮られたころは、糸魚川も地方の都市として非常に活力があった。みんな都会へ出ていった。今度は都会から糸魚川に呼び込む時代がきた。そのために、この映画を何か使えないかなというふうに私は考え始めています。

質問を終わります。よろしく願いいたします。

○議長（倉又 稔君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

新保議員。〔16番 新保峰孝君登壇〕

○16番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。

私は改定介護保険法と介護施策の充実について、高齢化に対応した交通対策、原発事故対策、マイナンバー制度について、米田市長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

1、改定介護保険法と介護施策の充実について。

(1) 改定介護保険法による今後3年間の介護施策の動向に関して。

要支援1、2の人に対する介護保険はずしと、市町村の総合事業化をどのように考えて